

創業者、中島昭美からの思い

——次の世代へ手渡したい、感謝と挑戦、そして楽しむところ

東邦運輸の創業者、中島昭美は1939年10月22日、日本の統治下にあった台湾で、8人きょうだいの3男として生まれました。終戦とともに中島家は北海道へ転居。昭美の父親は夕張炭鉱の切羽（きりは。坑道の先端にあたる危険な現場をいう）で働き、大家族を養いますが、病を得て他界。昭美は北海道立鹿島高等学校を卒業後、親戚の紹介で日本通運(株)名寄支店に就職し、材木運搬業に従事。北海道内陸部のきびしい気候の下、気性の荒い、200名を超す大人たちにまじって懸命に働き、家計を助けます。

その後、ころごしを得て上京。東京都北多摩郡久留米町（現・東久留米市）に運転手をしている友人をきっかけに運送会社に入社し、その勤め先の社長さんより「会社を設立してみないか」という助言より、1970年、東京都北多摩郡久留米町（現・東久留米市）に有限会社東邦運輸を設立。正式な事業許可を取得し、貨物自動車運送事業に取り組むようになりました。当時を知る誰もが、彼のリーダーシップ、仕事への熱心さ、頼まれたらいやとは言えない他人に寄りそうところをなつかしく語ります。

その人となりを一言で表せば「大親分」。とはいえ、居丈高だったことは一度もありません。

社の内外を問わず、縁のあった人は異口同音に、彼のやさしさや気配り、笑顔、にじみ出る感謝の気持ちを讃えています。昔をよく知るスタッフによると、彼の人脈は、創業当時すでに他の人では真似できないレベルだったということです。しかし豊富な人脈はただ事業のために作り上げたわけではありません。たとえば、東京都トラック協会などの業界団体の活動、田無地区交通安全協会における地域の交通安全と事故防止の推進、さらには東久留米市の地域交流や地域振興の活動等、誰にでもわけへだてなく感謝と奉仕の精神を貫きました。

これらの功績により、彼は2010年、黄綬褒章を受けました。これは、1970年の東京都トラック協会多摩支部発足以来6人目であり、先代以降10年間も受賞者がいなかったほどの栄誉でした。

しかしながら、先代の柔和で温厚な態度と物腰は、受章後も終生変わることなく、誰に対しても「ありがとう」「ごくろうさま」と声をかけ続けました。その姿は、今でも語り草となっています。

また、彼ほど女性の社会進出に理解のある経営者もまれでした。今でこそ、女性の社会進出が盛んに叫ばれていますが、彼は昭和の時代から女性たちの可能性に注目。「男の職場」と言われたトラック運送業界で、職種を問わず積極的に女性を登用しました。

一方で、彼には厳格な一面がありました。構内の整理整頓はもとより、仕入れや配車の細かな部分にまで目を通し、不合理な点を見つけると、その場で担当者を問い質すこともありました。とくに事故防止や燃費向上にはたいへん気を配りました。笑顔がトレードマークでしたが、彼がいるだけで事務所の空気はぴんと張り詰めたといいます。

また電光石火の人でもありました。長年お世話になっている経営コンサルタントの先生は「中島会長は有言実行というより、言っている最中にもう行動している人だった」と振り返ります。彼の事業家としての精神は「結果だけでなく、結果を出すスピードも求め」（中島社長談）続けたのです。

きびしさと行動力に裏打ちされたやさしさ、気配り、そして義侠心。創業者、中島昭美のこの生きざまがあったからこそ、東邦運輸は50年という歴史を走り切ることができました。

私たちは、この大切な「中島昭美の思い」を「令和」という新しいトラックに積み替え、「どんな時も周囲への感謝の気持ちを忘れず」「変化を恐れず、何事にも挑戦」し「大望を抱き、思い切り仕事も楽し」んで、「次の世代」へ、しっかりと送り届ける覚悟です。



2010年黄綬褒章受章。国土交通省にて。



2010年黄綬褒章受章。皇居豊明殿にて。



式典の様子。



黄綬褒章の表彰状。

【褒章とは】明治14年12月の「褒章条例」（太政官布告第63号）公布により、紅綬褒章、緑綬褒章、藍綬褒章が制定されたのが始まりで、以降、大正7年に紺綬褒章、昭和30年に黄綬褒章、紫綬褒章が制定され、現在に至っています。（故・中島会長が受章した）「黄綬褒章」は農業・商業・工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する方に授与されるものです。（内閣府HPより）

感謝状一覧

年月	表彰元	表彰内容
昭和57年3月	田無警察署署長	交通安全
昭和60年4月	警視庁交通部長	交通事故防止
昭和63年10月	全日本交通安全協会会長	交通事故防止
平成2年2月	東京都トラック協会多摩支部支部長	開業20周年
平成9年10月1日	東久留米市市長	緊急輸送
平成10年5月14日	警視庁交通部長	交通事故防止
平成11年2月	田無警察署署長	交通事故防止
平成12年2月18日	東京都トラック協会多摩支部支部長	開業30周年
平成13年7月3日	自由民主党総裁 小泉純一郎	各種団体協議会
平成13年10月1日	東久留米市市長	産業振興
平成14年10月1日	東久留米市市長	公益増進
平成18年2月8日	田無警察署署長	警察業務
平成18年5月19日	東村山法人会会長	支部活動
平成18年11月14日	東村山税務署署長	申告納税
平成19年2月22日	田無警察署署長	治安維持
平成19年6月15日	警視總監	交通安全活動
平成21年11月13日	東京都立川都税事務所所長	税務行政の推進
平成22年11月12日	東京消防庁東久留米消防署長	消防行政の推進
平成25年1月17日	(社)東京都トラック協会会長	業界発展のため
平成30年5月19日	東村山税務署署長 鈴木 芳典	税務行政の運営に多大の寄与
平成30年5月19日	東京消防庁消防總監 村上 研一	消防懇話会副会長及び災害防止協会副会長として地域防災に貢献
平成30年5月19日	警視庁田無警察署署長 藤原 靖浩	交通及び防犯活動、安全な街づくりに貢献
平成30年5月19日	田無地区交通安全協会連合会会長 村田 利夫	交通安全活動の推進
平成30年5月19日	公益財団法人東京連合防災協会会長 高木 茂	災害防止協会役員として協会事業運営に貢献

表彰状一覧

年月	表彰元	表彰内容
平成12年2月18日	東京都トラック協会多摩支部支部長	開業30周年
平成13年10月1日	東久留米市市長	産業振興
平成17年10月28日	国土交通大臣	運送事業の振興に貢献
平成18年5月19日	東村山法人会会長	支部活動に貢献
平成18年5月30日	東京防災指導協会理事長	災害防止に貢献
平成21年5月26日	財団法人 全国法人会総連合会長	法人会活動の推進
平成21年11月16日	東村山税務署署長	申告納税
平成22年4月29日	内閣総理大臣 鳩山 由紀夫 内閣府賞勲局長 坂井 和道	黄綬褒章
平成30年5月19日	公益財団法人 東京防災救急協会 理事長 北村吉男	災害防止協会役員として地域の安全に貢献